

郵政民営化委員会（第253回）議事要旨

日 時：令和4年10月28日（金）15:30～17:02

場 所：郵政民営化委員会室（永田町合同庁舎3階）及びオンライン

出席者：山内委員長、関口委員長代理、青野委員、佐藤委員
（敬称略）

株式会社ゆうちょ銀行 矢野専務執行役

株式会社かんぽ生命保険 春名常務執行役

1. 議事

- ・資産運用の高度化について

2. 委員会での説明・意見等

① 資料に基づき、ゆうちょ銀行及びかんぽ生命保険より説明。【資料253-1-1～253-2-2】

② 委員からの意見等

- ・有価証券における国債比率が他の生保は40%くらいなのに対して、かんぽ生命は70%程度ある。今後もこの水準を維持していくのか。

（⇒（かんぽ生命）他の生保は長い歴史的背景もあって、株式の評価益や内部留保の比率が当社と比較してかなり潤沢にある。当社は純投資として株式等に一定の投資を行っているが、過去の経緯もあり、評価益の水準や資本の厚みも他の生保と比べてやや薄い。収益追求資産を他の生保と同程度まで上げるのは、リスクバッファの関係から困難であり、日本国債を中心とする保守的な運用を取らざるを得ない。）

- ・ESG投資や社会貢献について、ゆうちょ銀行よりかんぽ生命の方が強調されていると感じた。方針の違い、立場の違いがあるのか。

（⇒（かんぽ生命）業態の違いが大きいと思っている。生命保険として、命や健康に直接関わりながら長期投資を行うという観点で、生保他社もESGに力を入れており、我々も同様に市場に対してアプローチしていきたい。）

（⇒（ゆうちょ銀行）業態の違いという観点からは、当行は銀行業態ではあるものの、貸出ではなく有価証券運用が業務の中心という特色があるため、ESG対応については、開示内容を含め、ゆうちょらしい対応を自ら切り開いている。）

—以上—

注）議事要旨は事後修正の可能性があることに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。